

女性医師交流会@JCHO九州病院

- 1 日時：令和2年2月5日（水） 17時30分～19時
- 2 場所：JCHO九州病院（北九州市八幡西） 別館 大会議室
- 3 コーディネーター：JCHO九州病院 小児科 山本 順子先生
- 4 プログラム



(1) 講話【私のワークライフバランス】

JCHO九州病院 小児科 芳野 三和 先生

<講話のポイント>

○医師の働き方について

- ・日本は女性医師の割合が低い(19.6%)。診療科別にみると、小児科の女性医師は33.7%と高めだが、30歳代の女性の就労率低下が見られる（育児・子育て世代）。
- ・当院では職種別超過勤務時間は医師が圧倒的に長い！小児科も月の超過勤務時間は75時間と長い。

○働き方の男女差（小児腎臓学会アンケート調査）

- ・小児科医としての働き方や学会活動に大きな男女差がある。女性は男性に比べて専門医取得率が低く、学会の理事や座長・総説著者が少ない。

○仕事と育児を両立させるポイント！（スライド参照）

小さな妥協はしても自分がやりたいことはあきらめない！

○私の失敗談

夫がお迎えに行ってくれたはずと思いこみ、子供が夕方まで一人幼稚園に取り残される。5歳だから一人でもお留守番できると思ったが、一人で家を飛び出し警察に保護される。

○講師の先生からのメッセージ

- ・現状の中で自分にできることを精一杯頑張る！
- ・完璧主義はだめ！人に任せることを嫌がらず、周囲への感謝を忘れないこと！
- そして、長く仕事をしていこう！

医療現場における実現のための4H



海外における女性医師のワークライフバランスの現状、中尾内訳Vol.48 2014

仕事と育児を両立させるポイント

- ① 仕事に情熱とやりがいをもつ
- ② 職場の理解
- ③ 夫、祖父母の協力
- ④ 家事・育児補助の利用
- ⑤ 常に感謝の気持ちをもって

質疑応答

- Q 仕事と育児以外の自分の時間はある？
A 子供が小さいときはほぼゼロ。小学生に上がると自立してくるので、夜10時以降は自分の時間。

(2) 情報交換会

2グループに分かれ、各自のキャリア形成プランや育児等の悩み・不安を話し合い、改善するために何をすべきかを話し合いました。

<主な意見>

○子供の有無にかかわらず、すべての医師が働きやすい環境を整えるべき！

そのためには ◆定時に帰るという意識改革、環境づくりが必要！

◆一人当たりの仕事量・時間外勤務を減らすために、人員の確保！

◆時間外加算を下げ、基本給を上げ、時間外勤務のメリットを減らす！

○以前は女性医師が休むと愚痴を言われることもあったが、今は女性医師の多い科では働きやすくなった。